



令和 6 年 3 月 2 9 日
環境生活部スポーツ・文化局
文化 振 興 課
0 4 3 - 2 2 3 - 3 9 4 1

千葉県立美術館活性化基本構想の策定について

県では、県立美術館が美術館を取り巻く様々な動向、社会経済状況の変化に適応しながら、県民に寄り添った魅力ある美術館として生まれ変わるため、今後の運営指針となる「千葉県立美術館活性化基本構想」を策定しました。

今後、本構想に基づき、県立美術館の更なる魅力向上と活性化を図るため、様々な取り組みを進めていきます。

1 千葉県立美術館活性化基本構想の概要

(1) 理 念 「アートを問う」

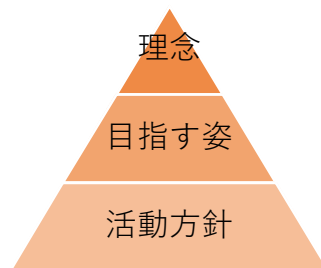
私たちはアートとは何かを、ともに問い続けます。

(2) 目指す姿 人々が行き交い対話する場となり、

千葉から未来へ新たな文化をつむぎます。

(3) 活動方針

上記の目指す姿を達成するため、以下の4つの活動方針を定めました。



活動方針Ⅰ 新たな出会いと発見の場に

- ・世界の潮流を捉えたアートを活用し、おどろきと感動が得られる千葉発のアートシーンを創出します。
- ・デジタル技術を活用して、情報発信や、新しいアート体験を創出します。
- ・様々なニーズに合わせた体験を提供します。
- ・県ゆかりから新たな分野までの作品を収集・研究し、その価値の向上に努めます。

活動方針Ⅱ 県内のアートプロジェクトの拠点として

- ・県内アートをプロデュース・支援し、アートシーンの中心となります。
- ・アートについて様々な関心をもった人々が行き交う場を用意します。
- ・唯一の県立美術館として、県内各地域、学校、企業など多様な主体と連携します。

活動方針Ⅲ 次世代の感性を育成する場として

- ・アートに触れる楽しさを伝えて、子どもたちの感性を育みます。
- ・様々な方策で若手アーティストを支援し、地域のアートを育てていきます。
- ・アートについて様々な関心をもった人々が行き交う場を用意します。(再掲)

活動方針Ⅳ サステナブルな美術館に

- ・多様性が尊重され、あらゆる人々の拠りどころとなります。
- ・多様な主体や地域のパートナーとともに、社会的課題の解決に貢献します。
- ・未来につながる美術館を実現する基盤を整備します。

2 これまでの経緯

- | | | |
|--------|-------|-------------------------------|
| 令和 2 年 | 9 月 | 千葉県立博物館の今後の在り方 策定 |
| 令和 3 年 | 1 2 月 | 千葉県立美術館アドバイザー会議 設置 |
| 令和 5 年 | 3 月 | 千葉県立美術館活性化基本構想骨子(案) 策定 |
| 令和 6 年 | 2～3 月 | 千葉県立美術館活性化基本構想(案) パブリックコメント募集 |